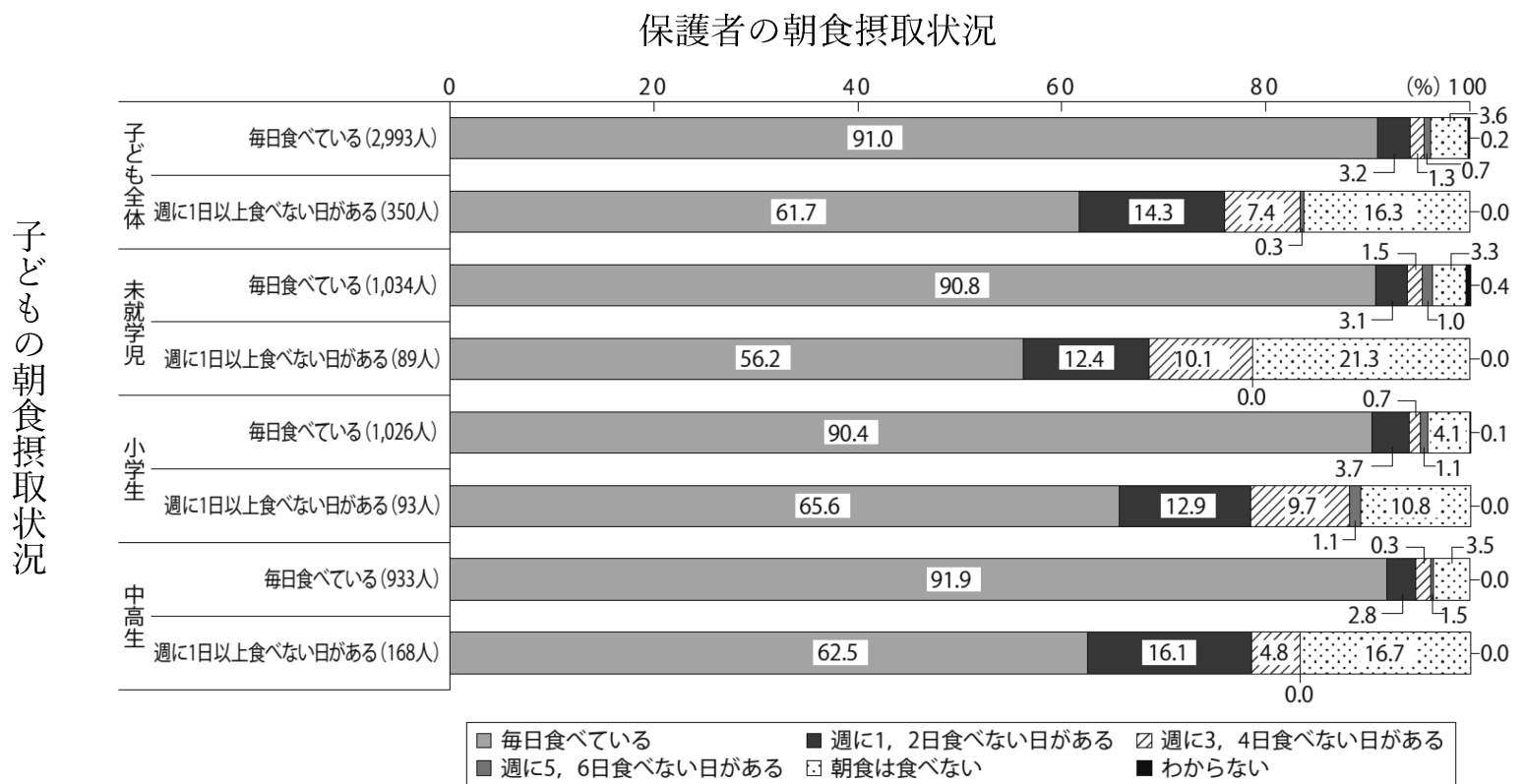


科目	学部	学科	専攻・コース
小論文	児童学部	児童学科	—
受験番号	氏名		採点

問1 下のグラフは、子どもの朝食摂取状況と保護者の朝食摂取状況を示すグラフである。未就学児と小学生の朝食摂取状況を比較し、保護者の朝食摂取状況にどのような違いがあるかを指摘しなさい。またその理由として考えられることを述べなさい。(600字以内)

◆子どもの朝食摂取状況（縦軸）／保護者の朝食摂取状況（横軸）（平成31年）



(注) 保護者は本人または配偶者等のうちいずれか高い頻度で朝食を食べている方の結果を採用。

出典：文部科学省「平成30年度家庭教育の総合的推進に関する調査研究」2019

科目	学部	学科	専攻・コース
小論文	児童学部	児童学科	—
受験番号	氏名		採点

問2 以下の文章は、日本人の集団意識と他者との関係の持ち方について述べたものである。文章の内容をふまえ、次の問題に答えなさい。

小学生を例にとり、クラスの中の親しい数人のグループと、そこに属さない児童の間にはどのようなことが生起し得るか。「ウチ」「ソト」「はしゃぎ」等の視点からあなたの考えを述べなさい。(400字以内)

家庭に限らず、いやむしろ他人同士がある目的のために集まった、比較的小さな「ウチ集団」が、日常性の中から解放されて、宴会、旅行など気分高揚と解放の場におかれると、「ウチ」の集団意識は、一過性に急激に膨張して、「甘え」から、特有の「はしゃぎ」へと変質し、時にはそれは狂躁状態を示すこともある。その物理的・精神的騒々しさは、「ウチ」以外の人間にとっては耐え難い程度に達することが、しばしばであるが、「ウチ」の人々はたいていそれには無感覚・無頓着である。乗り物の中やレストランその他公共の場で示される、日本人の家族の、はた迷惑な「団結」や、海外買い物・美食ツアー団体の傍若無人ぶりを挙げれば例としては十分であろう。「ウチ」を形成する意識が、理性的なものを含んだ客観的精神ではなく、情緒の一種としての「集団意識」であることが、このように「はしゃぎ」へと膨張することによって一層如実に感得される。

さて、このように客観的でない精神から眺める「ウチ」の外側は、いわゆる「ソト」「ヨソ」となる。

出典：徳武邦男「甘えからはしゃぎへ」『日本的人間性の研究』26-27, 東京図書出版, 2021

